

就 任 の 辭

會 長 谷 口 三 郎

不肖此度會員各位の御推舉により、本會々長の席を汚すことになりましたことは私の最大の光榮とするところであります。願みて淺學菲才、果して會長としての重任を完ふし得るや、内心寔に忸怩たるものがあるのであります。

我土木學會は二十有七年の光輝ある歴史と傳統を有し、今や一萬餘名の會員を擁し、業績また顯著なる進歩發達を遂げ益々隆盛を見るに至りましたことは誠に御同慶に堪へざるところであります。

今や我國は、支那事變の完遂、對外關係の錯雜化に備へ、高度國防國家確立のため、國家の總力を發揮して、この肇國以來の國難突破に邁進すべき重大のとき、あらゆる事業に於て、その根幹をなす土木技術の極めて重要なることは申すまでもありません。且つ本年は總會に於て定款の改正を行ひ、新に設立したる滿洲土木學會と緊密不可分の關係の下に事業を行ふこととなり、從て本會の使命も益々重大性を加ふると共に事業も一段と繁多を極むるに至りました。此の時に於て會長に就任致しました私としては微力ながら唯々誠心誠意を以て其の任務の遂行に最善の努力を盡し各位の御期待に背かざる様致し度い覺悟であります。

希はくば役員並に會員各位に於かれましては、本會の爲甚大なる御援助と御鞭撻を賜はらんことを切望する次第であります。
